

■令和5年度電波有効利用促進型研究開発(先進的電波有効利用型) フェーズII 新規採択課題(1課題)

課題名	研究代表者(所属機関)	研究分担者(所属機関)	概要	予定期間
走行型ロボット群の自動運転のための通信データ量削減と信頼性向上機能の実現	村瀬 勉(名古屋大学)	計 宇生(国立情報学研究所) 策力 木路(電気通信大学) 平井 健士(大阪大学)	物流や人流を担うと期待される自律走行型ロボット(AMR)がロボット同士の緊密な協働や人間(歩行者や車など)との連携を行いながら、安全で安心な自動走行を行える社会を実現するために、通信情報量削減と通信信頼性向上を高度な知的情報通信技術で実現し、周波数利用効率の高い無線通信システムを実現する。	2か年度